

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 建築安全課
 担当名: 震災対策・構造指導担当
 内線: 5523 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業																													
B11	住宅・建築物耐震改修促進費		一般会計	土木費	土木管理費	建築指導費	住宅・建築物耐震改修促進費																													
事業期間	平成19年度～令和7年度	根拠法令	建築物の耐震改修の促進に関する法律		針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11																												
					分野施策	0102 大地震に備えたまちづくり	SDGsターゲット	11-3																												
1 事業の概要			5 事業説明																																	
震災時の被害を軽減するため、住宅・建築物の耐震化を促進する。特に、緊急輸送道路は救命救急、物資輸送及び復旧活動の「要」であるため、特定行政庁12市とともに関係機関等と連携し、民間の閉塞建築物の耐震化を促進する。 被災した建築物の余震等による二次災害を防止するため、応急危険度判定が円滑にできる体制を整備する。			(1) 事業内容 ア 彩の国既存建築物地震対策協議会の運営 1,068千円 → 1,068千円 イ 応急危険度判定士の養成、訓練の実施、連絡体制の整備 6,357千円 → 6,267千円 ウ 多数の者が利用する民間建築物、緊急輸送道路閉塞建築物の耐震改修等に係る経費の一部を補助 177,541千円 → 20,758千円																																	
ア 既存建築物耐震改修促進事業 イ 応急危険度判定体制の整備 経費節減による減 △90千円 ウ 耐震診断及び耐震改修の補助制度 補助金の執行見込み等の減 △156,783千円			(2) 事業計画 ア 応急危険度判定模擬訓練の開催、判定資機材の備蓄、耐震化に関する講習会の開催 イ 応急危険度判定士養成講習会の開催(年4回)、判定士参集マッチングシステムの保守管理 ウ 補助件数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>診断</th> <th>設計</th> <th>工事</th> <th>診断</th> <th>設計</th> <th>工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多数の者が利用する民間建築物</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>→ 3件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>緊急輸送道路閉塞建築物(県所管)</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>3件</td> <td>→ 0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>緊急輸送道路閉塞建築物(11市所管)</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>→ 0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>							診断	設計	工事	診断	設計	工事	多数の者が利用する民間建築物	3件	2件	1件	→ 3件	0件	0件	緊急輸送道路閉塞建築物(県所管)	1件	4件	3件	→ 0件	0件	1件	緊急輸送道路閉塞建築物(11市所管)	0件	4件	1件	→ 0件	0件	0件
	診断	設計	工事	診断	設計	工事																														
多数の者が利用する民間建築物	3件	2件	1件	→ 3件	0件	0件																														
緊急輸送道路閉塞建築物(県所管)	1件	4件	3件	→ 0件	0件	1件																														
緊急輸送道路閉塞建築物(11市所管)	0件	4件	1件	→ 0件	0件	0件																														
2 事業主体及び負担区分			(3) 事業効果																																	
ア・イ(県10/10) ウ 社会資本整備総合交付金等 診断(国1/3・県1/3)事業者1/3 設計(国1/3・県1/3)事業者1/3 工事(国11.5%・県11.5%)事業者77%			ア 県内の地震対策を円滑に進めるための体制を維持・向上 イ 応急危険度判定士の登録者数の維持、質の確保、判定活動体制の速やかな確保 ウ 多数の者が利用する民間建築物の耐震化率 令和2年度末 95%(目標)→令和7年度末 耐震性の不足する建築物の概ね解消																																	
3 地方財政措置の状況			(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況																																	
国交付金に対応した県負担の1/2について特別交付税基礎数値に算入			彩の国既存建築物地震対策協議会を通じた全市町村及び建築関係団体との連携(平成10年～) 県内3金融機関による融資支援(平成24年12月～)、耐震サポーター制度の実施(平成25年6月～) 埼玉県住宅供給公社による事業化コーディネート支援(平成24年～)及び耐震診断費の助成(平成25年度～)																																	
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			(5) 補正予算の概要																																	
9,500千円×4.8人=45,600千円			イベント等取りやめによる減 △8千円 経費削減による減 △148千円 補助金の減、これに伴う国庫支出金の減 △156,717千円																																	
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額																											
		国庫支出金																																		
決定額	△156,873	△75,204					△81,669	28,093																												
現計額	184,966	84,728					100,238																													

事業内訳書

事業名	住宅・建築物耐震改修促進費		
単位事業名	応急危険度判定体制の整備	予算額	△ 90千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△82	—	執行留保による消耗品費等の減 △82千円
負担金、補助及び交付金	△8	—	研修参加取りやめによる負担金の減 △1件
合計	△90	—	

単位事業名	耐震診断及び耐震改修の補助制度	予算額	△ 156,783千円
-------	-----------------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△23	—	執行留保による減 △23千円
需用費	△43	—	執行留保による消耗品費等の減 △43千円

単位事業名	耐震診断及び耐震改修の補助制度	予算額	△ 156,783千円
-------	-----------------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△156,717	—	耐震化等を行う建築物に対する補助件数及び補助額が見込みを下回ったことによる補助及び交付金の減 多数の者が利用する民間建築物 設計△2件 工事△1件 緊急輸送道路閉塞建築物(県所管) 診断△1件 設計△4件 工事△2件 緊急輸送道路閉塞建築物(11市所管) 設計△4件 工事△1件
合計	△156,783	—	